

のびのび学習だより

「のびゆく子ども」(通知表)について



今年度も1・2学期は、個別懇談会にて通知表をお渡しする予定をしております。
お子さんのがんばったところを認め、はげますための材料としてご活用ください。

2020年度から始まった新学習指導要領には、学校で学んだことが、子どもたちの『生きる力』となって、明日に、その先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。という願いが込められています。

本校でも、学習指導要領の改訂にともない、昨年度から3観点(①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)による評価をしています。

(※ただし、国語科においては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」など言語活動にそった6観点)

1. 知識・技能

知識を暗記するだけでなく、その意味を理解し、技能も身に付けているか

2. 思考・判断・表現

知識・技能を活用しながら、さらにその先を自分なりに考え情報の真偽などを判断し、考えたことをわかりやすく人に伝えるために表現する力が付いたか

3. 主体的に学習に取り組む態度

知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けて、「粘り強く取り組む態度」と「自らの学習をより良く調整しながら学ぼうとする態度」が身についているか

学習のようす

教科のねらいが、どれぐらい達成できたのかを表しています。評価は、「よくできる」「できる」「がんばろう」の3段階(1年1学期は2段階)で表します。

○の数を数えて一喜一憂するのではなく、「よくできる」や「できる」のついた項目を、がんばったこととしてほめてください。

生活のようす

学校生活で見られる子どもの様子から、「よくできる」ことに○印を、「もう少し努力をしてほしい」ことに△印をつけています。○や△の数は子どもによって多少異なります。この欄も、○や△の増減にとらわれず、○のついた項目に対するがんばりを認めてください。

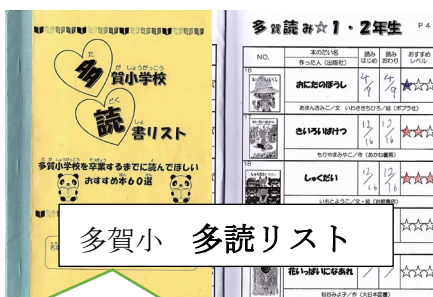
親子で読書を楽しもう ー充実した夏休みー

今年の夏休みも、家庭での読書の時間を少しでも増やしていただけたらと『親子読書』の取組を予定しています。（後日 お便り配布いたします。）

やり方としましては、親子で一緒に読書タイム、親から子どもに読み聞かせ、子どもから親に読み聞かせ、親子で同じ本を読み感想交流など・・・様々な方法が考えられます。

読み聞かせをすればたちまち本に親しむというわけではありませんが、本を読み、聞く時間が温かくて気持ちがいいと感じ、お話を楽しむうちに、文章を読み取ることが面白いと感じ取れるようになります。根気強く時間を重ねなければなりません。そして、何より楽しくないと続きません。

この夏、『親子読書』が楽しい親子の触れ合いの時間となりますようご協力お願いいたします。



多賀小 多読リスト

夏休みには、『多読リスト』を持ちかえります。夏休みの読書の参考にしてください。



5月『ルルとララのいちごのデザート』

4月『サラダでげんき』

6月『あいうえおいしいレストラン』

図書メニュー。お話の中に出てきた料理がみんなの前に！本と給食メニューのコラボです。

『多賀町はかせになろう』 3年生

3年生は、総合的な学習の時間に多賀町について自分たちが気になったことをテーマに調べ学習に取り組んでいます。ゲストティーチャーの方に詳しく教えていただく機会があり、学習を深めました。



『糸切餅』『多賀大社』『飯盛木』『胡宮神社』『アケボノゾウ』をテーマにしています。報告文として、記事を書き、新聞にまとめていく予定です



どのテーマも、様々な資料を使い、わかりやすくお話いただきました。

感染症対策を十分とりながら、今後も様々な学年でゲストティーチャーの方々から学ぶ機会を設けていきます。

『森の保水実験』 4年生

4年生では、社会科「水はどこから」、総合的な学習の時間、「やまのこ」の事前学習と関連して、高取山より、ゲストティーチャーに来ていただきました。森の保水実験を見せてもらい、間伐など森林の保全の大切さについて教えてもらいました。



『水泳学習』

2年ぶりの水泳学習。密を避けるため、学級ごとに実施しました。毎年なら大騒ぎのシャワーも静かに浴びていました。



暑期中、安全を見守ってくださった水泳監視ボランティアの皆様ありがとうございました！